

平成 30 年 7 月 20 日

第 40 回「講談社ノンフィクション賞」  
第 34 回「講談社エッセイ賞」 決定のお知らせ  
第 34 回「講談社科学出版賞」

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
講談社主催の平成 30 年度、第 40 回「講談社ノンフィクション賞」、第 34 回「講談社エッセイ賞」、第 34 回「講談社科学出版賞」の受賞作品が下記のように決定いたしましたので、お知らせいたします。

●第 40 回講談社ノンフィクション賞（賞状・記念品および副賞各 100 万円）  
選考委員／魚住 昭・後藤正治・最相葉月・中沢新一・野村 進（五十音順・敬称略）

『告白 ある PKO 隊員の死・23 年目の真実』（講談社）  
旗手 啓介（はたて・けいすけ）氏

『安楽死を遂げるまで』（小学館）  
宮下 洋一（みやした・よういち）氏

●第 34 回講談社エッセイ賞（賞状・記念品および副賞各 100 万円）  
選考委員／岸本佐知子・酒井順子・東海林さだお・坪内祐三・林 真理子（五十音順・敬称略）

『ここは、おしまいの地』（太田出版）  
こだま氏

『夫・車谷長吉』（文藝春秋）  
高橋順子（たかはし・じゅんこ）氏

●第 34 回講談社科学出版賞（賞状・記念品および副賞 100 万円）  
選考委員／黒田 玲子・小林 誠・竹内 薫・西成活裕・藤嶋 昭（五十音順・敬称略）

『我々はなぜ我々だけなのか アジアから消えた多様な「人類」たち』  
（講談社ブルーバックス）  
川端裕人（かわばた・ひろと）氏

\*講談社ノンフィクション賞は、2019 年から「講談社 本田靖春ノンフィクション賞」と改称いたします。講談社エッセイ賞につきましては、今年度限りで終了といたします。長年にわたりお世話になりました関係者の皆さまにあらためて御礼申し上げます。なお、講談社科学出版賞につきましては、今後もこれまで通り運営してまいります。